

チリの柑橘類事情(レモン)

米国農務省GAINレポート 2024年6月19日

これは米国農務省海外農業局サンチャゴ事務所(チリ)が作成した「柑橘類半期報告書」の要旨及びレモンの項(他の品目は生産需給統計表のみ)を訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

要旨

当事務所は、栽培面積の増加傾向と通常の収量を前提として、チリの2023/24年度のレモンの生産量を6.7%増の17万5千トンと推定する。チリのレモン輸出量は8.8%増の合計7万4千トンと見込まれる。当事務所はまた、厳しい利益率が続いていることから、2023/24年度のオレンジの栽培面積は減少すると予測する。その結果、チリのオレンジ生産量は1.6%減の合計17万7千トンと見込まれる。オレンジの輸出量はこれを踏まえ、3.2%減の合計9万2千トンと見込まれる。チリの2023/24年度のマンダリン生産量は、マンダリンの主要産地における干ばつにより9.7%減の合計24万2千トンと見込まれる。同様に、マンダリンの輸出量は21万1千トンに減少し、これは前年度に比べて10.6%の減となる。

<レモン(生鮮)> (レモンには貿易統計上レモンと同一区分のライムを含みます。)

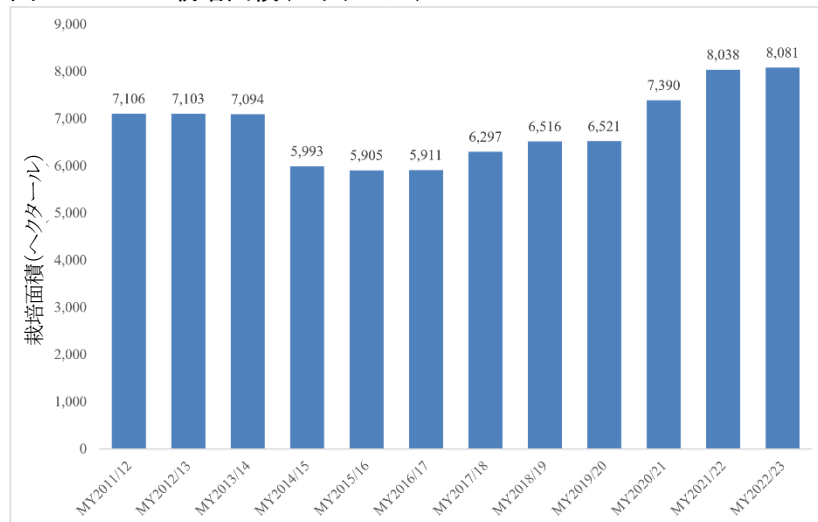
表1 チリのレモンとライムの生産需給統計

レモン/ライム(生鮮) 販売年度の始まり チリ	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2022年4月		2023年4月		2024年4月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	8,040	8,040	8,080	8,081	8,150	8,150
収穫面積(ヘクタール)	8,000	8,000	8,000	8,000	8,050	8,050
結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
未結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
果樹本数合計(千本)	0	0	0	0	0	0
生産量(千トン)	136	136	164	164	175	175
輸入量(千トン)	15	12	12	13	10	10
総供給量(千トン)	151	148	176	177	185	185
輸出量(千トン)	56	56	68	68	74	74
生鮮国内消費量(千トン)	86	83	98	99	100	100
加工仕向量(千トン)	9	9	10	10	11	11
総仕向量(千トン)	151	148	176	177	185	185

出典: 当事務所推計 公式データは [PSD Online Advanced Query](#) からアクセスできる。

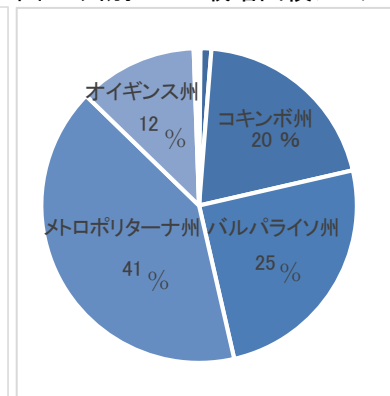
生産

図1 レモンの栽培面積(ヘクタール)



出典: ODEPA(農業省調査政策局) 2024 MYは販売年度

図2 州別レモン栽培面積シェア



出典: ODEPA, 2024

当事務所は、栽培面積の増加傾向と通常の収量を前提として、チリの2023/24年度のレモンの生産量を6.7%増の17万5千トンと推定する。同年度には、その収益性の高さにより、レモンの栽培面積は8,150ヘクタールと見込まれる。

タールに達すると見込まれ、これは2022/23年度に比べて1%の増加に相当する(図1)。生産者らは、レモンは価格が高く、必要とする水の量が少ないため、生産と輸出においてアボカド等の他の作物に代わる収益性の高い代替品であることをわかっている。チリのレモン栽培面積は、2016/17年度の5,911ヘクタールから2022/23年度には8,081ヘクタールに増加した。

レモンの栽培面積は、国の北部のコキンボ州から中南部のオイギンス地域に及ぶすべての産地で増加した。ただし、栽培面積の40%以上はチリ中部のメロポリターナ(首都)州にある(図2)。

チリでは、国内市場の価格が高い12月から3月までの夏の間、レモンは国内市場向けに出荷される。6月から9月までのチリの冬の間は、国際価格が国内価格よりも高く、ほとんどのチリの生産者は北米、ヨーロッパ、アジアにレモンを輸出する。

消費

当事務所は、2023/24年度のレモンの国内消費量を、人口の増加に伴い1%増の10万トンと予測する。国内のレモン消費量は、商業的生産量の57%を占めている。消費のピークは国内の供給が減少する12月から3月である。

2023/24年度のレモンの加工仕向量は、生産量の増加に伴い、2022/23年度より10%多い1万1千トンと見込まれる。レモンは、果汁、エッセンシャルオイル、菓子用の濃縮物に加工される。

貿易

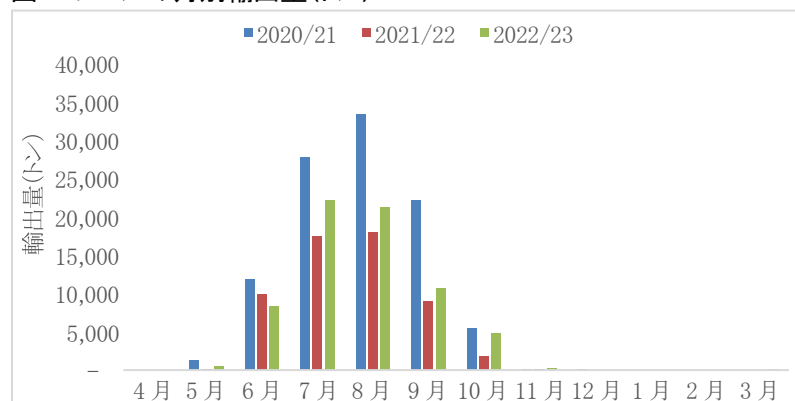
当事務所は、チリの2023/24年度の輸出量を、生産量の増加により8.8%増の7万4千トンと予測する。チリ産レモンの最大の市場は米国である。2022/23年度にチリはレモン輸出量の61.5%を米国に輸出した。2022/23年度のチリ産レモンのその他の上位市場は、日本、韓国、オランダであった(表2)。

表2 レモン及びライムの輸出量(トン)

輸出先国	品目: 080550、レモン及びライム、生鮮または乾燥						2022/23 対前年増減
	販売年度						
	2017/18	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	
世界	88,315	90,286	96,606	101,996	56,217	67,794	20.6%
米国	56,116	55,972	54,458	65,682	31,222	41,672	33.5%
日本	18,285	20,170	18,705	17,056	15,578	17,076	9.6%
韓国	3,931	3,792	5,343	4,999	4,423	5,593	26.5%
オランダ	4,553	5,225	4,575	4,630	901	1,634	81.4%
イタリア	987	1,148	1,298	617	209	576	175.6%
スペイン	1,218	1,606	966	858	689	432	-37.3%
オーストリア	0	0	0	0	0	288	
中国	0	0	5,657	6,532	1,558	124	-92.0%
ドミニカ共和国	33	38	30	56	54	97	79.6%
コロンビア	38	80	88	54	58	93	60.3%
その他	3,154	2,255	5,486	1,512	1,525	209	-86.3%

出典: Trade Data Monitor, LLC

図3 レモンの月別輸出量(トン)



出典: Trade Data Monitor, LLC

チリでは、レモンの販売年度は収穫期が始まる4月からである。輸出の大部分は毎年6月から9月の間に行われ、天候や市場の状況に応じて7月または8月にピークを迎える(図3)。

チリは、2022/23年度に1万3,200トンのレモンを輸入した。レモンの最大の供給国はペルーで、ブラジル、コロンビア、米国がそれに続いた(表3)。ブラジルからのレモンの輸入は、2020/21年度以降一貫して増加しており、2022/23年度の総輸入量の30.6%を占めた。

表3 レモン及びライムの輸入量(トン)

輸入先国	品目: 080550、レモン及びライム、生鮮または乾燥						2022/23 対前年増減
	販売年度						
	2017/18	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	
世界	13,861	11,466	11,356	12,703	12,267	13,200	7.6%
ペルー	7,980	8,943	8,027	10,350	8,567	7,837	-8.5%
ブラジル	0	0	0	202	3,057	4,035	32.0%
コロンビア	1,611	941	2,204	1,827	500	1,177	135.4%
米国	4,249	1,582	1,116	324	142	149	4.9%
その他	21	-	9	-	1	2	100.0%

出典: Trade Data Monitor, LLC

<オレンジ>

表4 チリのオレンジの生産需給統計

オレンジ(生鮮) 販売年度の始まり チリ	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2022年4月		2023年4月		2024年4月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	6,371	6,371	6,362	6,362	6,300	6,300
収穫面積(ヘクタール)	6,180	6,180	6,200	6,200	6,150	6,150
結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
未結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
果樹本数合計(千本)	0	0	0	0	0	0
生産量(千トン)	164	164	179	180	175	177
輸入量(千トン)	3	2	3	1	3	2
総供給量(千トン)	167	166	182	181	178	179
輸出量(千トン)	86	81	95	95	90	92
生鮮国内消費量(千トン)	71	75	76	75	77	76
加工仕向量(千トン)	10	10	11	11	11	11
総仕向量(千トン)	167	166	182	181	178	179

出典: 当事務所推計 公式データは [PSD Online Advanced Query](#) からアクセスできる。

<タンジェリン/マンダリン>

表7 チリのタンジェリン/マンダリンの生産需給統計

マンダリン/タンジェリン(生鮮) 販売年度の始まり チリ	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2022年4月		2023年4月		2024年4月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	11,194	11,194	11,184	11,184	12,000	12,000
収穫面積(ヘクタール)	11,000	11,000	11,000	11,000	11,800	11,800
結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
未結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
果樹本数合計(千本)	0	0	0	0	0	0
生産量(千トン)	158	158	268	268	287	242
輸入量(千トン)	1	1	1	1	0	1
総供給量(千トン)	159	159	269	269	287	243
輸出量(千トン)	131	131	233	236	250	211
生鮮国内消費量(千トン)	25	25	33	30	34	29
加工仕向量(千トン)	3	3	3	3	3	3
総仕向量(千トン)	159	159	269	269	287	243

出典: 当事務所推計 公式データは [PSD Online Advanced Query](#) からアクセスできる。